

# 第三者評価委員会の2019(令和元)年度の実績

## 1 今年度の目的

2018(平成30)年度に実施した第三者中間評価結果に基づいて、事業関係者と協議をし、必要な活動計画や実施体制の改善を目指す。

## 2 第三者評価委員会メンバー(日本評価学会メンバー)

- 委員長:西野 桂子 氏(関西学院大学総合政策学部・総合政策研究科 教授)
- 委員:長尾 眞文 氏(元国連大学サステナビリティ高等研究所 客員教授)
- 委員:橋本 昭彦 氏(国立教育政策研究所教育政策・評価研究部 総括研究官)

## 3 主な活動と成果

- CAPWRの運営委員会、各タスクフォース、並びに産学官ダイバーシティ推進協議会メンバー機関への第三者中間評価結果の報告と必要な改善点に関する協議を行った。主な改善点は以下の通り。
  - ▶女性研究者や学生がCAPWRの目的や意義を理解して、様々な活動に積極的に参加してもらえるように、CAPWRに関するシンポジウムやセミナーを開催、パンフレットの配布などを強化した。
  - ▶さらに、CAPWRに関する情報の学内外への発信をより強化するために、CAPWRのウェブページのコンテンツを見直し、わかりやすい構成とするとともに、更新をタイムリーに行うようにした。
  - ▶産学官ダイバーシティ推進協議会メンバー間の情報交流の場を増やしてほしいとの要望に応えるため、メンバー機関とも本件について協議し、定例会議の前後に情報交流の時間を増やすよう工夫した。
- CAPWR中間総括シンポジウム及びCAPWRウェブページを通した第三者中間評価結果の公開
- 第三者中間評価の手法・対象・手順等の見直し